

外装タイル張り用 既調合モルタル

セラミックタイル用
(モザイクタイル)

プレモルM-3

プレモルM-3は外装タイルをコンクリート、モルタル下地へ施工するのに適した既調合モルタルです。優れた作業性を確保するため、厳選された骨材・保水材を的確に配合してありますので、現場調合に見られる品質のバラツキがなく、安定した性能を発揮し、施工管理がより効果的に、かつ容易に行えます。



既調合モルタル

粉末形

容量	包装形態	梱包単位
25kg	セメント袋	1

用 途

適用箇所	屋外の壁面及び床面 屋内の壁面及び床面
適用下地	コンクリート、モルタル
適用仕上げ材	セラミックタイル (モザイクタイル)

性 質

外 観	灰色 粉末状
主 成 分	ポルトランドセメント
張付け可能時間	20分以内/23℃

標準使用量

6~8kg/m ²
0.12~0.16m ² /kg
3~4m ² /25kg (1袋)

標準配合比

	重量比	容積比
粉体	25kg	100
水	4.7kg	28.5

使用方法(コンクリート下地の場合)

【下地の処理及び準備】

1. 風雨や直射日光の影響を受ける屋外へ施工する場合は、当該部分に適切な養生を行います。
2. 下地表面の脆弱部分、塵埃、硬化不良部分、汚れ、剥離剤などは、接着障害の原因になりますので、清掃及び目荒らしを確実に取り除きます。
3. 下地の精度は長さ3mにつき7mm以内として下さい。段差、不陸が著しい場合はJIS A 6916のセメント系下地調整厚塗材CM-2の品質基準に適合した既調合ポリマーセメントモルタルを使用して下さい。
4. 下地に吸水調整材の塗布を行い、下地の吸い込みを調整します。
5. 下地に軽微なへこみ、欠けがある場合は張り付けモルタルと同一材料で補修します。

【混練】

1. 標準配合比に従って粉体に水を徐々に加え練り混ぜます。
 2. 約5分おいた後に、再度練り混ぜます。
- チェック：・1回に練り混ぜる量は、60分以内に使いきれれる量として下さい。
・60分以上経過した混練モルタルは使用しないで下さい。

【モルタルの塗布】

1. 張り付けモルタルを下地に薄くコテで押し付け、しごき塗りを行います。
2. 左官ゴテを用いて標準塗布厚(3~5mm)になるように均一に塗布します。
3. 1回当たりの塗布面積は3m²以内とします。

【タイルの張り付け】

1. 張り付けモルタルの塗布後すぐにタイルを張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。
- チェック：張付け可能時間は環境温度により異なりますので、前もって確認して下さい。
2. 張り付けたタイルは、タイル用衝撃工具(ビブラート)や叩き板などを使って、目地部に張り付けモルタルが盛り上がるまで十分に圧着します。
 3. 時々タイルを剥がし、張り付けモルタルの付着状態を確認します。
- チェック：裏足の高いタイルを施工する場合は、改良圧着張りを検討して下さい。

【清 掃】

張り付けモルタルの硬化を見計らい、タイルが動かなくなった時点で目地さらえ及びタイルの清掃を行います。

【施工後の養生】

施工完了後3日間以上、外力が加わらないように養生します。

【目地詰め】

3日間以上養生した後、目地詰めを行います。

プレモルM-3

取り扱い上の注意事項

プレモルM-3を取り扱う時は、下記の項目を守って下さい。

- 指定用途以外には絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる材料と併用・混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取り扱い場所及び作業場所は換気をよくして下さい。
また、施工後も数日間は十分な自然換気を行って下さい。
- 使用時は防塵マスクや保護手袋を着用して下さい。
- 強いアルカリ性ですので、肌荒れやカブレを起こすことがあります。直接皮膚に触れないようにして下さい。
- 湿気を避け水濡れがないようにして、乾燥した場所に保管して下さい。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用后や休憩前には、必ず手洗いやウガイを行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った場合は、直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚や衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- プレモルM-3をご使用になる前に、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

■ 警告及び注意



接触注意

- 掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。
- 本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区信勤町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621	技術開発センター TEL: 0584-89-8111 FAX: 0584-87-0010	

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

1703Mac00